

# 02 アスパラガス

【土作り】良菜健穂／大地／コフナ 【元肥】千代田 550



## 1 畑の準備

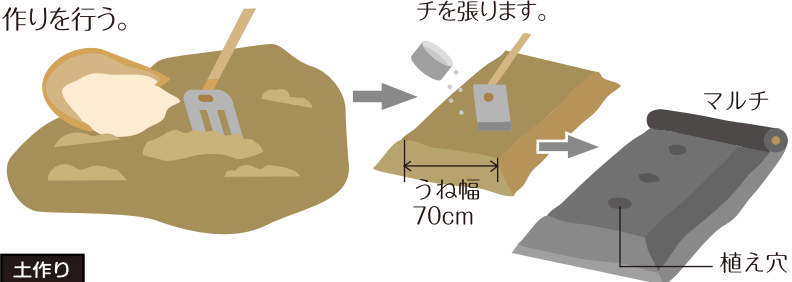
アスパラガスは多年生植物となるため植え付け後の土壌改良は難しく、植え付け前にしっかりと土作りをします。

### 土作り

植え付けの14日前までに「良菜健穂」、「大地」、「コフナ」をまいて30～40cm深く耕し土作りを行う。

### 元肥・うね立て・マルチ張り

植え付けの10日までに元肥の「有機盛々」をまいて、うね立てを行い、保温・雑草発生防止のために黒マルチを張ります。



土作り

良菜健穂：10坪当たり 2kg  
大地：10坪当たり 5～8kg  
コフナ：10坪当たり 5～8kg  
ケイフン：10坪当たり 5kg

元肥

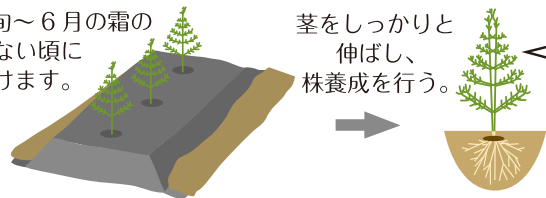
すくすく050：10坪当たり2kg～3kg  
大地：10坪当たり5kg～8kg

## 2 植え付け

### ポット育苗の植え付け

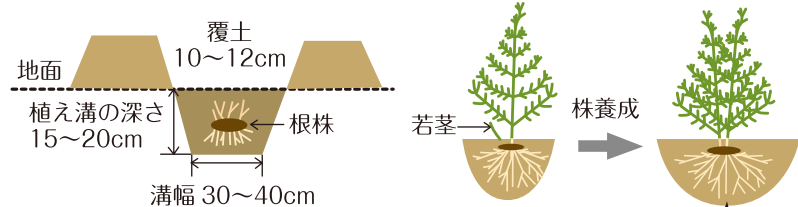
5月中旬～6月の霜の心配のない頃に植え付けます。

茎をしっかりと伸ばし、株養成を行う。



1年目は植え付け初年度の株養成管理をしっかりし、根に養分を蓄えさせるため、収穫は行いません。

### 根株(1年生養成苗)の植え付け



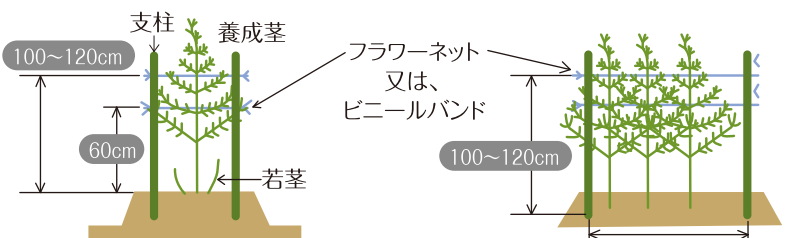
注：植え付け前に、連作障害(アレロパシー)対策として殺菌剤などに浸漬処理を行う。

1～2年目は基本的に養成機関なので収穫はしません。しかし順次茎を立てていく場合は、不良茎を収穫して株元の管理を行います。

## 3 支柱立て・誘引

倒伏してしまうと風通しが悪くなり、病害虫の発生につながる為、伸長に合わせて早めに誘引を行います。

### 倒伏防止対策(茎葉支柱の立て方)



うね上60cmと100～120cmの2段にフラワーネットなどを張る。上段はビニールバンドで結んでも良い。

2～3m置きに支柱を両側に立てる。

## 4 茎葉の刈り取り・野ねずみ/もぐら駆除

晩秋の霜が2～3回降りると茎葉が黄変しますので、茎葉の緑が抜けてから地ぎわより地上部の刈り取りを行います。

### 刈り取り

茎葉は全て畑の外へ持ち出します。



病気の感染のない茎葉は畑の通路に溝を掘り埋め込み堆肥化させます。

### 野ねずみ・もぐら対策

10坪あたり2kgの石灰チツソを降雪前にまきます。直接の駆除は専門の忌避剤が必要となります。

## 5 収穫(春どり)・株養成の開始

植え付け後3年目より本格的な収穫となり、収穫の打ち切りは前年の生育状況で決定します。(収穫時期4～6月)

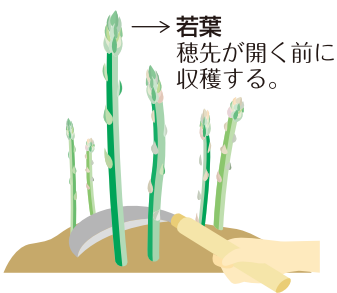
### 収穫期間

◆ 3年目/30～40日 ◆ 4年目/60日

収穫の打ち切り ↓

### 打ち切りの目安(1定の期間で収穫を止める)

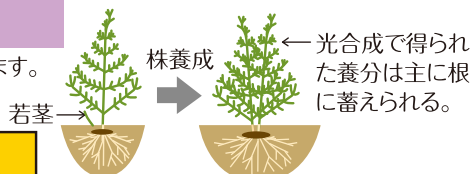
- 1日の収量がピークの30%前後に落ちてきた頃。
- 穂先の開きが目立ってきたら。
- 茎葉の曲がりや、細ものが多くなってきたなど。



→ 若葉穂先が開く前に収穫する。

### 株養成の開始

春どりを打ち切り、株養成を行います。



← 光合成で得られた養分は主に根に蓄えられる。

元肥

千代田550：10坪あたり2kg  
大地：10坪あたり100kg

※元肥は、春の収穫終了後に行う。

春どりのみの場合、1株9～10本で、1あたり23～25本を目安に茎数を確保する。

## 6 収穫

### 定期的なかん水

- アスパラガスは97%が水分なので充分なかん水を心がけましょう。
- 株養成開始後は病害発生を助長することで、茎葉には水ができるだけかからないようにしましょう。

### 茎葉の管理

- 倒伏防止をしっかりと行い、下枝は50cmくらいまで取り除き横枝は垂れてきたら軽く摘みます。
- 常に風通しのよい畑にしておきます。
- 1株9～10本に仕立てます。(うね1mあたり23～25本程度)

### 病害虫防除

病害虫は発生してからだと防除が困難となりますので、梅雨入、明け時の病害虫防除をしっかりと行いましょう。

- 秋の茎葉の刈り取り後は、毎年同一の作業が繰り返になります。(④茎葉の刈り取り→⑤収穫→③支柱立て→⑥夏場の管理)

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
中間地			🌱	🌱	🌱	🌱	🌱	🌱				
暖地			🌱	🌱	🌱	🌱	🌱	🌱				
寒冷地			🌱	🌱	🌱	🌱	🌱	🌱				

種まき期  
植えつけ期  
収穫期

土いじり応援プロジェクト



無断転載禁止